

神戸市感染症発生動向調査週報

平成31年2月6日 作成

神戸市感染症情報センター

報告定点数 48 ケ所 (内訳) 東灘6, 灘3, 中央3, 兵庫3,
設置定点数 48 ケ所 北8, 長田3, 須磨6, 垂水8, 西8

第 5週

平成31年1月28日 ~

平成31年2月3日

インフルエンザ

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	~79歳	80歳~
インフルエンザ	209	72	76	50	236	106	194	301	337	1,581	5	14	50	53	92	100	100	116	75	98	75	276	60	59	96	122	63	54	51	22

小児科

報告定点数 31 ケ所 (内訳) 東灘4, 灘2, 中央2, 兵庫2,
設置定点数 31 ケ所 北5, 長田2, 須磨4, 垂水5, 西5

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	20歳~							
RSウイルス感染症	1				2		5	2	5	15	2	2	7	3	1																
咽頭結膜熱								2		2			1								1										
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	7	2			9	1	3	3	17	42				2	2	5	3	9	6	6	3	6									
感染性胃腸炎	14	13	15	8	26	12	34	39	23	184	1	10	19	22	15	13	14	9	9	5	9	30	10	18							
水痘					1	1	1		1	4				1			1				1										
手足口病	8								1	9			7	1																	
伝染性紅斑	3	2	3	2	2				2	14		1		1	1	4	2	1	1	1	1	1									
突発性発疹							1	1	3	5		1	3	1																	
ヘルパンギーナ										0																					
流行性耳下腺炎										0																					

市内の医療機関から麻しんの届出がありました。市内では、平成28年の届出(1例)以来です。
現在のところ、感染源は不明ですが、全国では、1月に三重県での麻しんの集団感染があり、近隣の他府県でも麻しん患者の患者発生が報告されています。
麻しんは感染力が強く、空気感染するため、手洗いやマスクでの予防ができません。ワクチンが有効な予防法です。予防接種を受けたことがなく、麻しんにかかったことがない人には、ワクチン接種を検討しましょう。
また、麻しんに感染すると、約10~12日の潜伏期間の後、発熱、発疹等の症状が現れます。麻しん患者と接触した可能性があり、接触後に麻しんを疑う症状が出現した際には、医療機関に事前連絡の上、公共交通機関の利用をなるべく避け、マスクを着用して受診しましょう。

[麻しん患者の発生について 三重県HP](#)

百日咳は、平成30年1月1日から全数報告となりました。医療機関で患者を診断した際には、届出基準に基づき、届出の提出をお願いいたします。

報告定点数 10 ケ所 (内訳) 東灘1, 灘1, 中央1, 兵庫1,
設置定点数 10 ケ所 北1, 長田1, 須磨1, 垂水1, 西2

眼科

疾病名称	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	~14歳	~19歳	~29歳	~39歳	~49歳	~59歳	~69歳	70歳~	
急性出血性結膜炎									1	1												1								
流行性角結膜炎	1					4		1		6	1					1	1		1						2					

【定点機関から報告されたその他の感染症情報】

東灘区○ノロウイルス感染症3例:2歳 男、2歳 女2例
○ロタウイルス感染症7例:1歳 女、2歳 女2例、3歳 男、5歳 男、5歳 女2例
中央区○ノロウイルス感染症1例:1歳 女
兵庫区○ノロウイルス感染症1例:0歳7か月 男
西区○ロタウイルス感染症1例:年齢性別不詳

【基幹定点からの報告】

細菌性髄膜炎1例:20歳 男
インフルエンザによる入院26例:0~4歳 4例、5~9歳 3例、10代 2例、30代 1例、40代 2例、60代 1例、70代 8例、80代 4例、90代 1例

【全国の感染症の状況】

○インフルエンザ

市内のインフルエンザの定点あたり患者数は32.9人となり、先週((47.8人)から減少しましたが、まだ警報レベル(30人以上)が続いています。

定点医療機関からの迅速キットの検査結果は、インフルエンザA型患者が大半ですが、インフルエンザB型患者の報告が少しずつ増えています。

今後の流行によっては2つの型に同時に感染したり、一度、罹患した人でも別の型に再度、感染することがあるため注意しましょう。

(インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報)

A 型	B 型	A型およびB型
1337	17	0

[風しんの発生状況 国立感染症研究所HP](#)

[風しん予防接種の助成について 神戸市HP](#)

○風しん

全国で風しん患者発生の報告が続いています。平成30年第40週(10月1日~10月7日)から平成31年2月3日までに

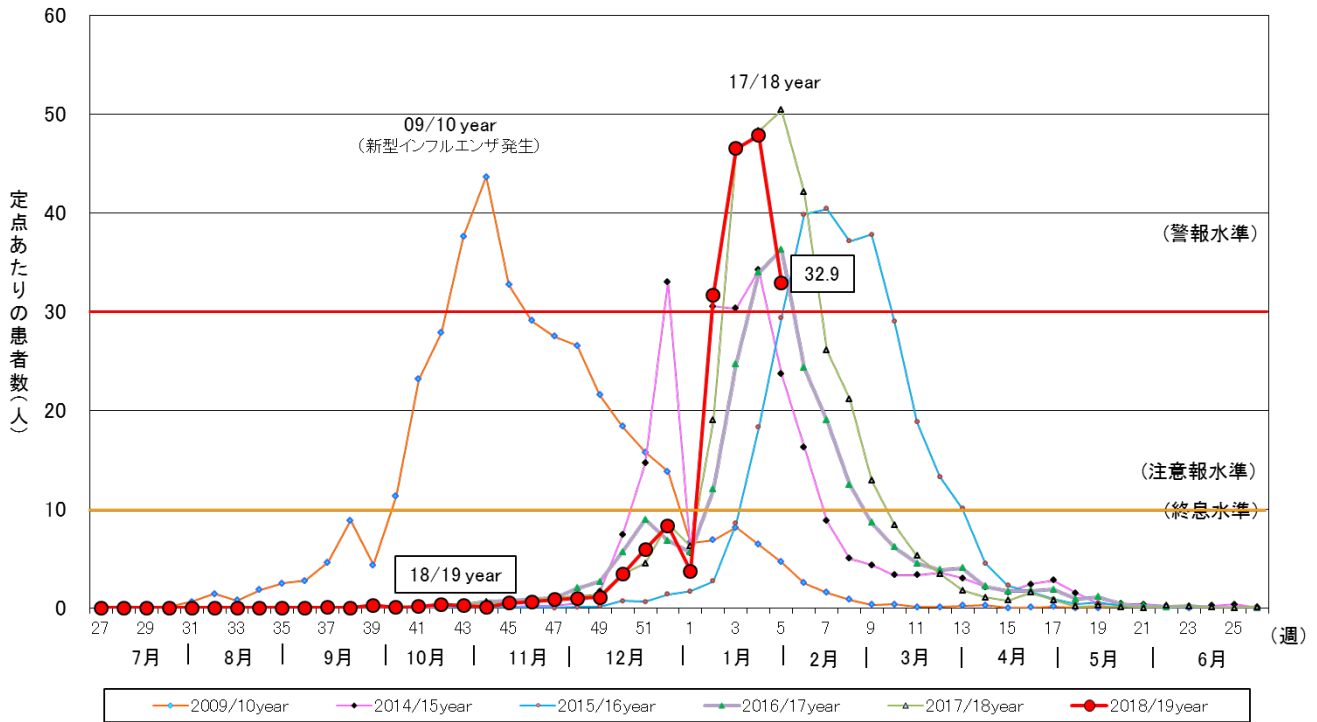
兵庫県では、51例、神戸市では、9例(0~4歳 1例、10代 1例、20代 1例、40代 3例、50代 2例、70代 1例)の報告(IgM抗体検査陽性による検査診断例および臨床診断例)がありました。

【お知らせ】バックナンバーは神戸市のホームページからご覧いただけます。

[神戸市 発生動向【検索】](#)

[「IL」情報センター」ホームページを開設しています。詳細はこちらをクリック](#)

定点あたりのインフルエンザ患者報告数

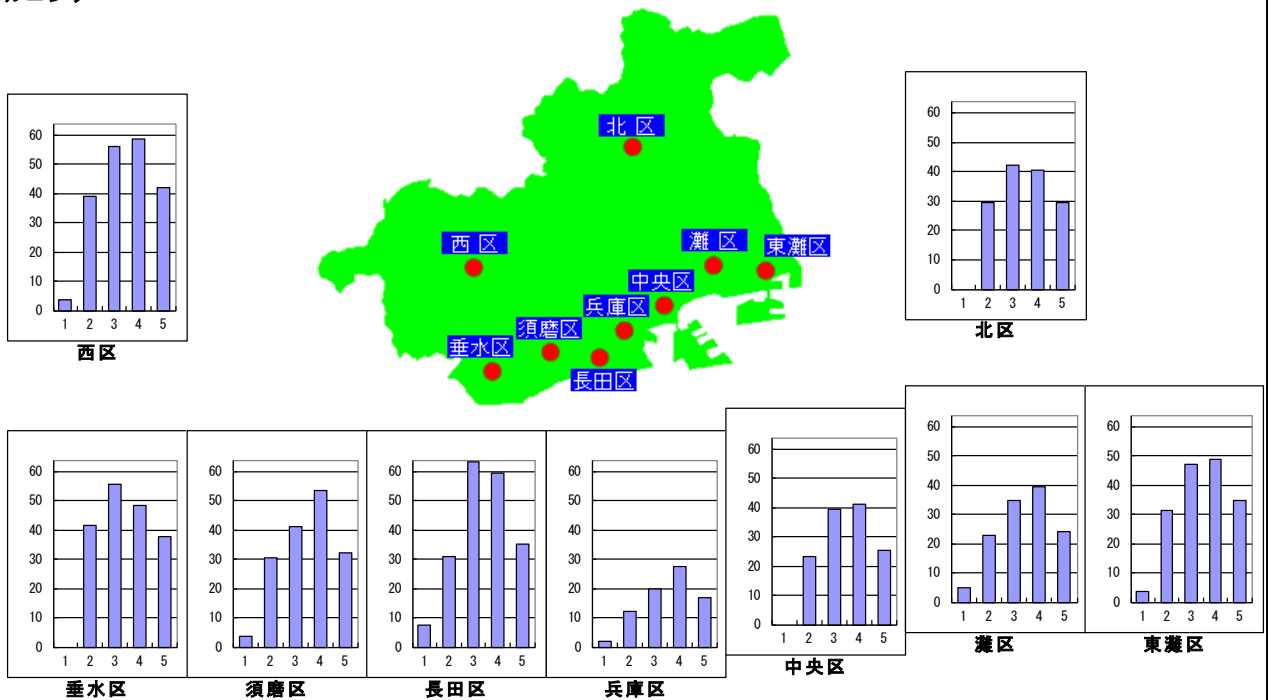


疾病別・地区別・定点あたり患者数マップ

第1週 平成31年12月31日

第5週 平成31年2月3日

インフルエンザ



※ このマップは各区の定点報告医療機関の報告数を平均しグラフ化したものです。各区の定点医療機関数は区の人口に合わせて設定しています。すべての医療機関からの報告ではないため、区内の経時的な傾向を把握することはできませんが、区間の違いを正確に把握できるものではありません。